

(別添書類)

履 歴 書 (記 入 例)

文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース)
令和元年6月1日現在

ふりがな ○○○ ○○○
氏 名 ○○ ○○ 印
生年月日 昭和○○年○○月○○日生 性別 男
現住所
電話番号 ○○○-○○○-○○○○ その他連絡先 ○○○-○○○○-○○○○(携帯電話)
勤務先
住所
電話番号 ○○○-○○○-○○○○(内線○○○)

| 学歴 | 年 月 日 | [高等学校卒業から最終学歴まで 欄は適宜増減してください] |
|----|----------|-------------------------------|
| | 平成○年○月○日 | ○○県立○○高等学校卒業 |
| | 平成○年○月○日 | ○○大学○○学部卒業 |
| | 平成○年○月○日 | ○○大学大学院○○専攻○○課程修了 |
| | | |

| 職歴 | 年 月 日 | [組織・機関, 配属先, 職名 欄は適宜増減してください] |
|----|----------|-------------------------------|
| | 平成○年○月○日 | ○○に○○として採用 |
| | 平成○年○月○日 | ○○保存修理事務所 主任補佐 |
| | 平成○年○月○日 | ○○に昇任 |
| | | |
| | | 現在に至る |

| 研修歴 | 年 月 日 | [研修名(主催), 日数 欄は適宜増減してください] |
|-----|----------|----------------------------|
| | 平成○年○月○日 | ○○研修(○○主催) ○日間 |
| | | |
| | | |

| 資格等 | 年 月 日 | [資格名称(所管官庁等) 欄は適宜増減してください] |
|-----|----------|----------------------------|
| | 平成○年○月○日 | ○○建築士(国土交通省) |
| | 平成○年○月○日 | ○○作業主任者(厚生労働省) |
| | | |
| | | |

(記入要領)

本履歴書は講習会の選考に使用するため、提出を求めるものです。本講習会の資料以外には使用いたしません。

※令和元年6月1日現在で記入すること。

※本調書は、本人が記入すること(すべてパソコン入力可)。

1. 氏名等 氏名、ふりがな、生年月日、性別を記入してください。
2. 現住所 現住所、連絡先を記入してください。その他連絡先には携帯電話等の連絡先を記入してください。
3. 勤務先 現在通勤している勤務先を記入してください。
4. 学歴 卒業した高等学校名等を記入してください。大学院修了者は、大学院名の他に卒業した大学名・学部名も記入してください。
5. 職歴 現在の職務に至るまでの職歴を正確に記入してください。
6. 研修歴 文化財建造物修理主任技術者講習会(普通コース)の受講年月日のほか、参加経験のある文化財建造物関連の研修を記入してください。
7. 資格等 職務に関係のある資格を記入してください。

(別添書類)

令和元年度文化財建造物主任技術者講習会（上級コース）

様式3「文化財建造物に係る業務歴」の記入要領

1. 氏名等

氏名，ふりがな，生年月日を記入してください。

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間

業務歴の審査を希望する期間を記してください。期間は年月日（H〇〇. 〇〇. 〇〇の形式）で記し，経験年数を「年，箇月」で記入してください。

経験月数は，自動計算されます。

3. 業務歴の一覧表

文化財建造物に係る全ての業務を記してください。欄が不足する場合は適宜追加してください。

- ①**業務名**：業務名称が不定の場合は，業務内容がわかるよう具体的に記してください。
- ②**文化財の種別**：文化財建造物の種別を記してください。（例：国宝，重要文化財，都道府県指定有形文化財，市町村指定有形文化財，史跡・名勝，登録有形文化財など）
- ③**文化財の所在地**：都道府県名，市町村名を記してください。
- ④**文化財の構造・形式**：文化財の構造，規模等の概要がわかるように記してください。
- ⑤**保存修理工事の内容**：保存修理工事の内容を記してください（例：解体修理，半解体修理，屋根葺替（屋根葺材），部分修理，塗装修理など）。複数棟にわたる場合は棟毎に記してください。
- ⑥**業務内容**：当該業務における業務の内容を記してください（例：修理設計，設計監理，修理監理，文化財調査，〇〇計画策定，耐震診断など）。文化財保護行政実務（技術指導など）に従事した期間についても記してください。
- ⑦**業務における立場**：当該業務において果たした役割を記すこと（例：工事主任，工事主任補佐，補助員など）。文化財保護行政実務においては担当係などを記してください。
- ⑧**現場常駐**：保存修理工事の現場に，専ら常駐して携わった業務に「〇」を入力してください。
- ⑨**業務期間**：当該業務の開始と終了の年月を記し，期間の長さを月数で記してください。
- ⑩**期間における業務専念率**：同期間に併行して複数の業務を行った場合は，当該業務に専念した割合を百分率で示し，専念月数を計算してください。
- ⑪**専念月数**：集計欄の「月数（専念）」，「年数（専念）」とともに自動計算されます。

(別添書類)

文化財建造物に係る業務歴(記入例)

文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース)

ふりがな ○○○ ○○○

1. 氏名 ○○ ○○

生年月日 昭和○○年○○月○○日生

令和元年6月1日現在

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間: 自 H15.4.1 至 H28.3.31 経験年数 10年 0箇月 経験月数 156

3. 業務歴 [欄が不足する場合は適宜挿入してください]

| 通番 | ① 業務名 | ② 文化財の種別 | ③ 文化財の所在地 | ④ 文化財の構造・形式 | ⑤ 保存修理工事の内容 | ⑥ 業務内容 | ⑦ 業務における立場 | ⑧ 現場常駐 | ⑨業務期間 | | | ⑩ 期間における業務専念率 | ⑪ 専念月数 |
|----|--------------------|-------------|--------------|----------------|----------------|-----------|---------------|-----------|---------|---------|----|------------------|-----------|
| | | | | | | | | | 開始(年.月) | 終了(年.月) | 月数 | | |
| 1 | (例)重要文化財○○神社本殿保存修理 | 重要文化財 | ○○県 ○○○市 | 木造 一間社 流造 | 解体修理 | 設計監理 | 主任補佐 | ○ | H15.4 | H15.12 | 9 | 100 | 9 |
| 2 | 以下同上 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 4 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 5 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 6 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 8 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 11 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 12 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | | 専念月数合計 | 9.0 |
| | | | | | | | | | | | | 専念年数合計 | 0.8 |